

令和4年度 第2回 新潟市歴史博物館運営協議会

日時：令和5年3月7日(火) 午後2時30分～
会場：新潟市歴史博物館本館セミナー室

次 第

- 1 開会
- 2 館長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 令和4年度の館運営状況について
 - ① 歴史博物館
 - 1) 事業報告
 - 2) 来館者数の動向
 - ② 旧小澤家住宅
 - 1) 事業報告
 - 2) 来館者数の動向
 - (2) 来年度事業について
 - ① 歴史博物館
 - 1) 事業計画
 - ② 旧小澤家住宅
 - 1) 事業計画
 - (3) その他
- 4 閉会

新潟市歴史博物館運営協議会
(R3～R4年度) 委員名簿

	氏名	所属・推薦団体等
1	池田 哲夫	新潟大学人文学部名誉教授(民俗)
2	石塚 正朗	新潟日報社 読者局 事業担当部長
3	遠藤 仁	日本旅行業協会 関東支部 新潟地区委員長
4	上村 啓	BSN新潟放送 事業局次長 兼 事業部長
5	久保 有朋	古町花街の会
6	佐藤 宏欣	新潟市立東石山中学校長
7	渋川 綾子	にいがた湊あねさま倶楽部
8	永田 向太郎	新潟市小中学校PTA連合会 副会長
9	中村 元	新潟大学人文学部准教授
10	羽生 英一	公募委員
11	坂内 徹	新潟市立南浜小学校長
12	本井 晴信	元新潟県立文書館副館長

(50音順)

オブザーバー	遠藤 和典	歴史文化課 課長
--------	-------	----------

新潟市歴史博物館運営協議会設置要綱

(設置)

第1条 館長は、新潟市歴史博物館（以下「博物館」という。）の運営について意見を聴くため、新潟市歴史博物館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(委員)

第2条 協議会の委員は次に挙げるもので構成する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 学識経験者
- (4) 公募により選抜された者
- (5) その他館長が必要と認めた者

(定数)

第3条 定員は15名以内とする。

(任期)

第4条 協議会の委員の任期は2年とし、令和3年4月1日から令和5年3月31日までとする。ただし、任期中に委員が交替する場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。なお、委員は再選されることは妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長各1名を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 会長は会務を総理する。
- 3 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議)

第6条 協議会の会議は会長が招集し、その議長となる。

- 2 協議会の会議は、定数の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。
- 4 会長は、必要のあるとき、委員以外のものを会議に参加させることができる。ただし、その者は、採決に参加できない。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、新潟市歴史博物館企画普及課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱で定めるもののほか、会の運営に関して必要な事項は、会長が別に定めるものとする。

附則

この要綱は平成16年1月1日から施行する。

この要綱は平成17年7月27日から施行する。

この要綱は平成18年4月1日から施行する。

この要綱は平成20年4月1日から施行する。

この要綱は平成22年4月1日から施行する。

この要綱は平成23年4月1日から施行する。

この要綱は平成25年4月1日から施行する。

この要綱は平成27年4月1日から施行する。

この要綱は平成29年4月1日から施行する。

この要綱は平成31年4月1日から施行する。

この要綱は令和3年4月1日から施行する。

令和4年度事業報告 博物館

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

1 文化事業

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、川村修就コーナーの展示ケースを、4月・7月・10月・1月・2月の4回、展示替えした。

(2) 企画展示事業

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行った。今年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催した。

① 「にいがたの中世」展

平安時代末から戦国時代までを対象とし、なかでも上杉謙信などの武士たちが華々しく活躍した時代を中心に、古文書や考古資料によって新潟市および新潟県の中世の歴史をたどった。

開催期間 令和4年4月16日～5月29日 39日間

観覧者数 3,555人（うち有料観覧者 2,555人、無料観覧者 1,000人）

② ～大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念 6館リレー展～

「大河津分水・関屋分水」展

当館をはじめ、燕市分水良寛史料館、燕市長善館史料館、信濃川大河津資料館、長岡市立科学博物館、新潟県立歴史博物館の6館の連携によるリレー展。当館では新潟市における分水の役割を、都市機能整備や治水をめぐる歴史を通して紹介した。

開催期間 令和4年7月17日～8月28日 37日間

観覧者数 4,174人（うち有料観覧者 3,143人、無料観覧者 1,031人）

③ 第19回むかしのくらし展「ごっつお！」

新潟ではどんなごちそうが食べられてきたのか。身近にある食べものや食事のしかたなどのうつりかわりを知り、いまの新潟の食を楽しむヒントを提案した。

開催期間 令和4年9月10日～11月27日 67日間

観覧者数 10,385人（無料観覧者）

④ 「収蔵品展・新収蔵品展」

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展を毎年開催しているが、今年度は「むかしばなしの世界」をテーマに、話に登場する身近な道具について暮らしとの関わりの中で紹介した。また、令和4年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催した。

【資料1】

開催期間 令和4年12月10日～令和5年2月5日 44日間
観覧者数 3,060人（無料観覧）

(3) 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報、ライブラリーなどを活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。

① 体験の広場事業

体験の広場では、コロナウイルス感染症禍においてハンズオン機能の一部を制限しているものの、感染禍前の事業内容に戻りつつある。こうした状況において、小学生や家族連れ・大人を対象とした各種の体験プログラムを計54回（2月時点）実施した。

② 博・学連携事業

小学校67校・中学校22校を受け入れ見学に際し展示解説等を行った。そのほか、学校へ出向いて行う授業を小学校6校・中学校1校、リモート授業を中学校1校で実施した。また職場体験では中学校7校から生徒を受け入れた。新潟大学と連携して当館学芸員が講師をつとめる寄附講義は3年ぶりの対面方式で実施し、大学生を対象とする館実習は、通年および夏休み期間集中の2本を実施した。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的に、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全10回、歴史講座「浜・潟・山の歴史とくらし」全4回 館長講座 全4回（3月実施予定）

④ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、感染拡大防止に配慮しながら活動を支援した。登録者数120人。

(4) 施設普及事業

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」（3回）、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

① 地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体と共催で「みなと・しもまち・川まつり」（8/28）を開催した。また、春に予定していた「堀と桜のコンサート」、夏に予定していた「夕涼みコンサート」は、全体での練習ができなかったことから実施されなかった。

② クリスマスコンサートの開催

冬季の施設活用と市民サービスのため、12月18日に地元出身の音楽家・今井あいのコンサートを本館1階のエントランスホールで開催し（12/18）、110名の来場があった。

③ みなとびあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・まちあるき「内野町 新潟の治水史をたどる」（6/12）・バスツアー「出雲崎の街並みと古代遺跡」（10/22）・館長講演会「米どころ新潟の古代」（1/7）・学芸員による講座「八木朋直旧蔵の上

杉家関係文書について」(2/5)を実施した。

(5) 調査研究事業

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、その成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要 19号』にまとめた。

(6) 資料整理事業

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

① 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

(7) 自主事業「歴史発見プロジェクト」

新潟の歴史に親しみ、自らが歴史を発見する喜びを知ってもらうため、歴史を題材とした以下の自主事業を行った。

① 企画展

「にいがた近代建築パネル展」

歴史発見プロジェクトミニ企画展として、新潟市の近代とともに歴史を刻んだ歴代の新潟市役所庁舎などの建物を写真で紹介した。また、昨年、惜しまれながら姿を消した旧日本石油株式会社の赤レンガ倉庫についてもあわせて紹介した。

開催期間 令和4年6月4日～6月19日 14日間
観覧者数 1,241人(無料観覧者)

「近世新潟町一地下に広がる江戸時代の町一」展

江戸時代に日本海側有数の港町として栄えた新潟町。地下深くには江戸時代の町の痕跡が広範囲にわたって残っており、「近世新潟町跡」と名付けられて調査が行われている。出土した資料や絵図などの記録をもとに、江戸時代の新潟町を解き明かす。

開催期間 令和5年2月18日～3月26日 31日間
観覧者数 開催中

② 古文書解読上達講座

古文書学習の経験者を対象に上達のコツを教える全10回の古文書講座。参加登録者46名。

【資料1】

③ こども歴史クラブ

小学生を対象にクラブ員を募り、古代から近現代までの人々の暮らしに関わる全11回の体験プログラムを実施した。クラブ員24名。

④ 大人の体験プログラム

「食の道具と手入れ…包丁研ぎ体験」(11/13) 会場：たいけんの広場 参加者12名

⑤ 特別講演会

高橋一樹氏(明治大学教授)「越後平野を駆ける鎌倉武士たち」(11/12)

会場：ミュージアムシアター 参加者85名

⑥ 古町学

旧新潟町エリアを学びの場とし、市民参加によって歴史・文化・魅力を掘り起こす地域学として実施。

●関連企画展「にいがた近代建築パネル展」・「近世新潟町」(上記)。

●古町こども研究所

・小学生研究員による古町地区の今と昔を比べる調査(7/30・8/6)を実施。参加者6名

・中学生研究員による上古町地区の調査(5/7)、寺町・坂道の調査(10/22)を実施。参加者3名

それぞれの成果をとりまとめ、パネルにして掲示した。

⑦ 外部への講師派遣

民間や公民館、その他団体主催の講座・講演会等へ、学芸員を講師として56回派遣した。

2 文化施設管理受託事業

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

(1) 歴史博物館管理事業

① 博物館本館(常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等)

② 旧第四銀行住吉町支店(応接室、会議室、日本間)

③ 屋外施設(広場、堀、園路等)

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

① 旧新潟税関庁舎

② 史跡(石段、石積み、石庫等)

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

3 付帯事業

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機設置
- ③ 企画展関連物販

「ごっつお！」展にあわせて、近隣の食品等を扱う店舗等にご協力いただき、特選コーナー、本日のおすすめコーナー、なんかやコーナーとして販売した。

【協力店舗】・田中屋本店 ・はり糸 ・念吉 ・越後せんべい浜島
・明治屋ゆかり店 ・新潟加島屋 ・青山トーイ

■令和4年度歴史博物館入館者数 令和4年度目標 70,000人
(1月末現在) 77,082人 ※昨年同時期 53,979人(対前年度比 143%)

【資料2】

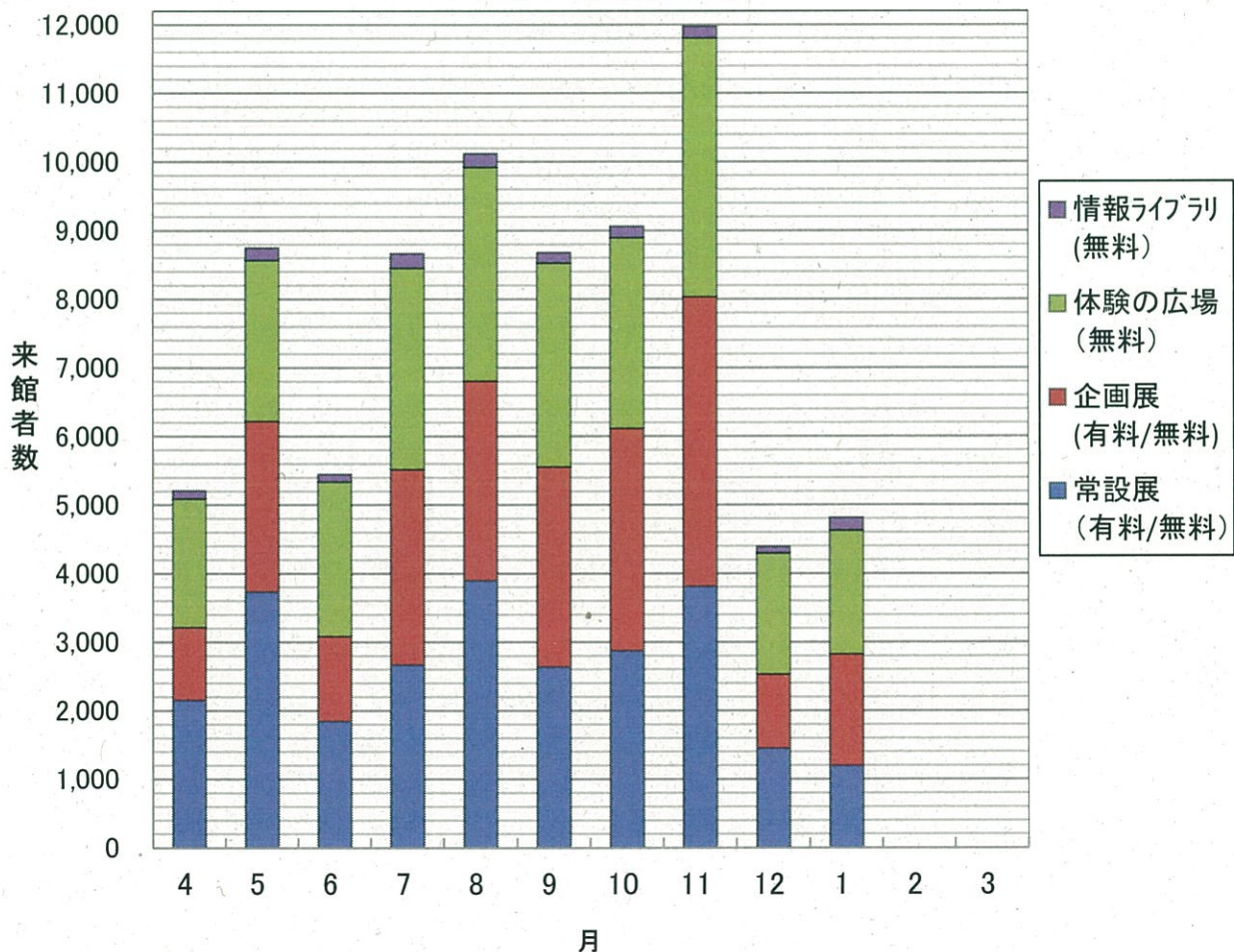
令和4年度 歴史博物館 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	常設展 (有料/無料)	企画展 (有料/無料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	R4月別 来館者数計	1日平均 来館者数
4	26	2,155	1,063	1,872	115	5,205	200
5	27	3,732	2,492	2,343	180	8,747	324
6	20	1,845	1,241	2,251	106	5,443	272
7	27	2,669	2,852	2,930	209	8,660	321
8	26	3,894	2,916	3,113	198	10,121	389
9	26	2,639	2,918	2,968	152	8,677	334
10	26	2,873	3,243	2,782	159	9,057	348
11	25	3,811	4,224	3,769	169	11,973	479
12	23	1,448	1,085	1,763	95	4,391	191
1	24	1,196	1,630	1,800	182	4,808	200
2	17					0	0
3	26					0	0
計	293	26,262	23,664	25,591	1,565	77,082	

*上記企画展の来館者には、貸館による「現代工芸展」689人を含む

4年度 月別来館者数



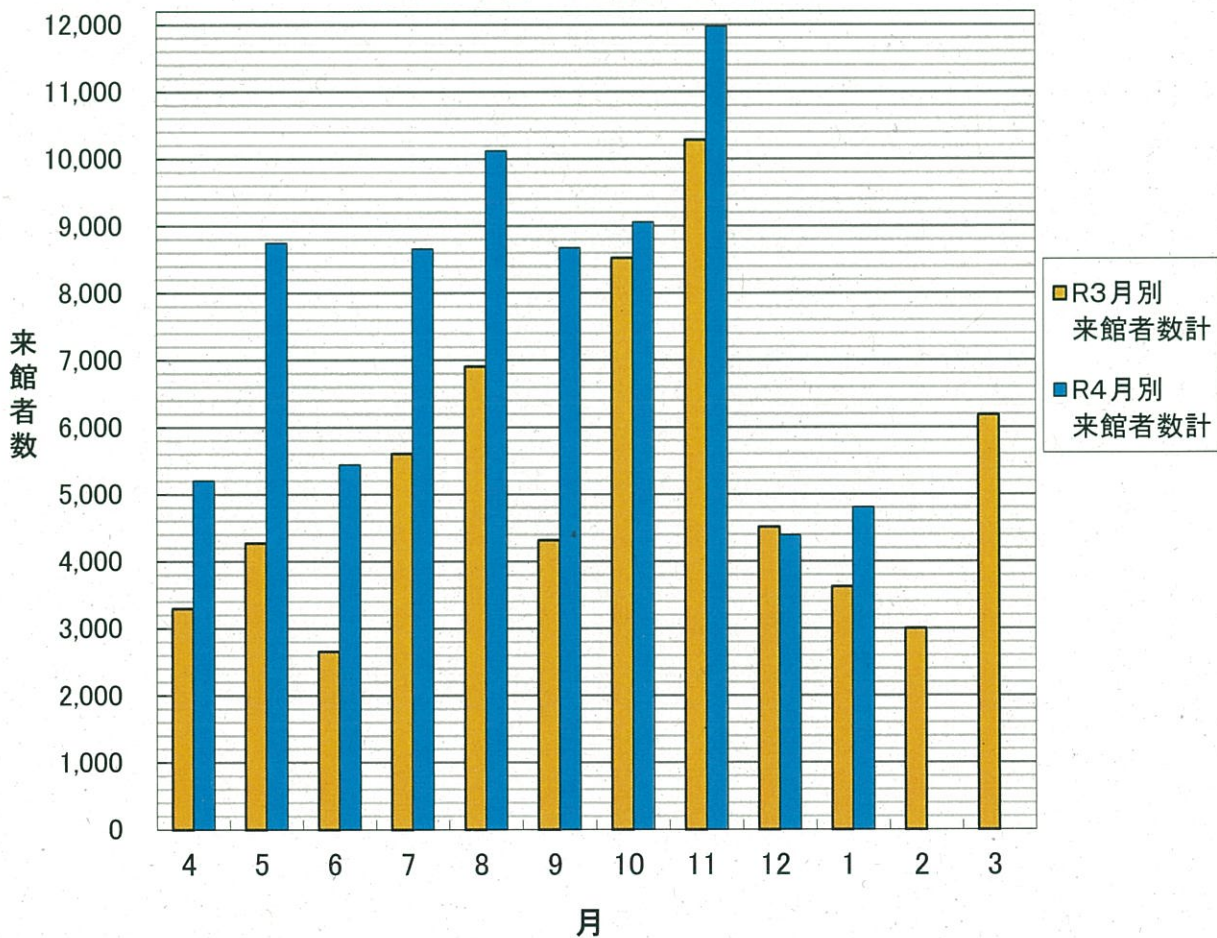
<参考> 令和3年度 歴史博物館 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	常設展 (有料/無料)	企画展 (有料/無料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	R3月別 来館者数計	1日平均 来館者数
4	26	1,262	579	1,330	125	3,296	127
5	26	1,624	1,062	1,491	93	4,270	164
6	20	1,023	404	1,169	59	2,655	133
7	26	2,000	1,480	2,009	115	5,604	216
8	27	2,233	2,012	2,561	99	6,905	256
9	15	1,226	1,445	1,578	66	4,315	288
10	27	2,781	3,050	2,570	119	8,520	316
11	25	4,090	2,722	3,343	127	10,282	411
12	22	1,389	1,800	1,258	65	4,512	205
1	24	623	1,852	1,091	54	3,620	151
2	16	1,212	963	764	62	3,001	188
3	27	2,429	1,766	1,900	87	6,182	229
計	281	21,892	19,135	21,064	1,071	63,162	

*上記企画展の来館者には、貸館による「現代工芸展」1594人を含む

R3・R4年度 月別来館者数の比較

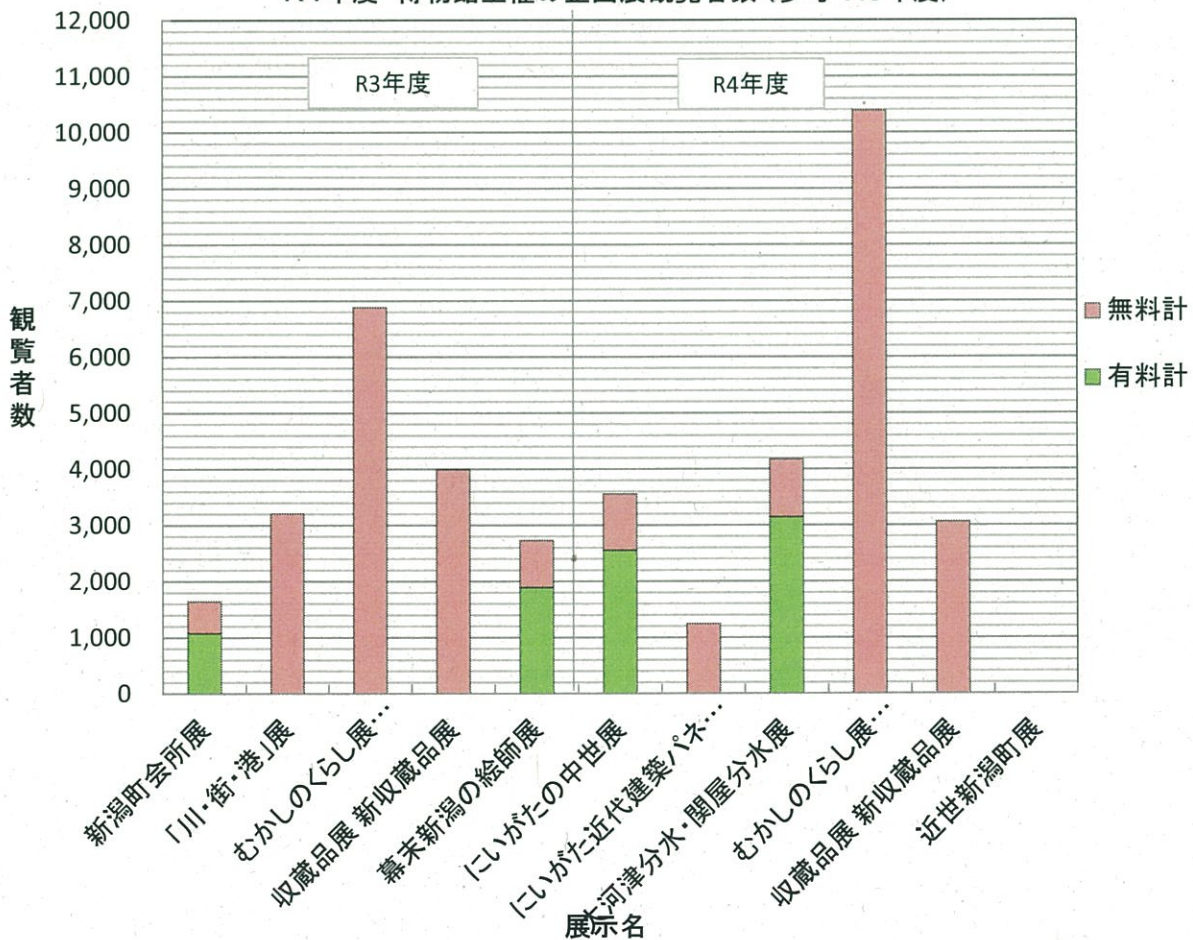


【資料2】

R4年度 博物館主催の企画展観覧者数（参考 R3年度）

	企画展名	会期	開館 日数	合計	有料計	個人	団体	無料計	うち授業	うち小中 土日無料	日平均
R3 年度	新潟町会所展	4.10～5.30	44	1,641	1,072	704	368	569	115	88	37
	「川・街・港」展	7.17～8.29	38	3,207	0	0	0	3,207	0	0	84
	むかしのくらし展 「新潟のくらしと年中行事」	9.17～11.14 (9.11～9.16休館)	52	6,878	0	0	0	6,878	2,072	0	132
	収蔵品展 新収蔵品展	11.27～1.30	49	3,991	0	0	0	3,991	0	0	81
	幕末新潟の絵師展	2.11～3.27	37	2,729	1,891	1,317	574	838	48	113	74
R4 年度	にいがたの中世展	4.16～5.29	39	3,555	2,555	1,640	915	1,000	191	139	91
	にいがた近代建築パネル展	6.4～6.19	14	1,241	0	0	0	1,241	0	0	89
	大河津分水・関屋分水 展	7.17～8.28	37	4,174	3,143	1,946	1,197	1,031	4	423	113
	むかしのくらし展 「ごっつお！」	9.10～11.27	67	10,385	0	0	0	10,385	2,188	0	155
	収蔵品展 新収蔵品展	12.10～2.5	44	3,060	0	0	0	3,060	0	0	70
	近世新潟町展	2.18～3.26	31	0	0	0	0	0	0	0	0

R4年度 博物館主催の企画展観覧者数（参考 R3年度）



令和4年度事業報告 旧小澤家住宅

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

1 文化事業

指定管理の受託事業者として旧小澤家住宅の設置目的に基づき、常設展示とともに企画展事業や教育普及事業などを積極的に開催し、来館者の増加に努めた。

なお、事業の開催に当たってはボランティアの皆さんからガイドを行っていただいた。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業

【常設展示】

旧小澤家住宅の概要と小澤家の来歴、そして「みなとまち新潟」の歴史や生活文化について、グラフィックパネルで紹介した。

【企画事業】

新潟町の歴史に関連した企画展や旧小澤家住宅の雰囲気と風合いに合わせた日本の伝統的な工芸品展などを開催した。

① 「引札」展

開催期間 令和4年4月2日(土)～5月8日(日)

明治・大正期の新潟市並びに県外の面白い図柄の引札を展示紹介した。

観覧者数 1,288名(有料 1,185名・無料 103名)

② 「端午の節句飾り」展

開催期間 令和4年4月20日(水)～5月22日(日)

小澤家に伝わる兜など、端午の節句に合わせた飾りを展示した。

観覧者数 1,326名(有料 1,200名・無料 126名)

③ 「五姓田芳柳」展

開催期間 令和4年5月14日(土)～6月12日(日)

初代五姓田芳柳が描いた肖像画を、初公開となる作品3点を含めて展示紹介した。

観覧者数 1,559名(有料 1,343名・無料 216名)

④ 「そば猪口に見るデザインー洗練された江戸時代の人々の感性ー」展

開催期間 令和4年6月18日(土)～7月10日(日)

そば猪口に描かれたハイセンスな図柄を通じて、日本人の感性の一端を紹介した。

観覧者数 874名(有料 742名・無料 132名)

⑤ 「みんなの問題・海のごみ」展

【資料3】

開催期間 令和4年7月16日(土)～7月31日(日)

一般社団法人JEAN(クリーンアップ全国事務局)との共催。

海洋ごみ問題の普及啓発のため、東日本大震災と漂着ゴミについてのパネルを展示した。また、市内でビーチコーミングをしている富川氏より、新潟の浜に流れ着いた漂着物を借用し展示した。

観覧者数 456名(有料 405名・無料 51名)

⑥桜井進一氏写真展「新潟まつり」

開催期間 令和4年7月16日(土)～8月28日(日)

写真家・桜井氏が撮影した新潟まつりの写真を展示紹介し、往事の姿を回顧した。

観覧者数 1,201名(有料 1,054名・無料 147名)

⑦「面白図柄古裂(こぎれ)ーハイカラデザインの着物たちー」展

開催令和4年9月3日(土)～9月25日(日)

着物に使われた、明治から昭和初期のハイカラなデザインの高裂を展示紹介した。

観覧者数 939名(有料 783名・無料 156名)

⑧ 2022年新潟郵趣会ー鉄道開業150周年記念展「時代と共に生きる切手の世界ー」

開催期間 令和4年10月1日(土)～10月10日(月)

鉄道開業150周年にあわせ、珍しい切手や鉄道資料を展示紹介した。

共催：新潟郵趣会

観覧者数 418名(有料 349名・無料 69名)

⑨「新潟仏壇工芸」展・「越後生紙」展

開催期間 令和4年10月15日(土)～11月6日(日)

新潟仏壇組合の協力を得て、新潟市の伝統的工芸品である新潟仏壇と、それに係る工芸について紹介した。

また、越後生紙振興会の協力を得て、新潟県内の手漉き和紙と、それを使った作品も紹介した。

共催：新潟仏壇組合、越後生紙振興会

観覧者数 1,445名(有料 770名・無料 675名)

⑩「ふろしき イマ・ムカシ・コレカラ」展

開催期間 令和4年11月19日(土)～12月25日(日)

小澤家に伝わる古いふろしきや、現代のふろしきを展示して、ふろしきの柄の幅広さを紹介した。

協力：大嶋屋呉服店

観覧者数 1,164名(有料 1,017名・無料 147名)

⑪「カルタと双六」展

開催期間 令和5年1月7日(土)～2月1日(水)

お正月の遊びとして楽しめるカルタと双六を展示した。

来館者 364名(有料 299名/無料 65名)

⑫ 「ひな人形とからくり人形」展

開催期間 令和5年2月18日(土)～3月21日(火・祝)

小澤家や近隣に伝わるものをはじめ、江戸時代以降のひな人形と、江戸時代のからくり人形を展示する。

共催：新潟ハイカラ文庫

(2) 教育普及事業

旧小澤家住宅を通して新潟の歴史や文化に関する「学び」と「楽しみ」を提案するため、様々な催し物の開催とともに体験学習を実施した。

① 古文書講座・・・6月水曜日コース 6月8日、15日、22日

6月木曜日コース 6月9日、16日、23日

10月水曜日コース 10月5日、12日、19日

10月木曜日コース 10月6日、13日、20日

本井晴信氏を講師に迎え、古文書の初心者向け講座を実施した。参加者の要望に応え、6月は各コース1回ずつ補講も追加実施した。

② 庭園講習会・・・6月25日(土)

旧小澤家住宅の庭園の管理をしている長生園の田辺良夫氏を講師に、松の剪定等の技術を学んだ。

③ ふろしき自由研究・・・8月21日(日)

大嶋屋呉服店の大嶋美樹子氏を講師に、小学生を対象にしてふろしきの使い方や歴史を学んだ。

④ 新潟仏壇工芸ワークショップ・・・10月16日(日)・23日(日)・30日(日)

11月3日(木・祝)

「新潟仏壇工芸」展の関連企画として、伝統工芸士による蒔絵実演、職人指導によるワークショップ(金具打ち・蒔絵塗)を開催した。

⑤ ふろしき講座・・・11月27日(日)、12月3日(土)

「ふろしきイマ・ムカシ・コレカラ」展の関連企画として、大嶋屋呉服店の大嶋美樹子氏を講師に、ふろしきのさまざまな使い方について学んだ。

⑥ 稲穂で作る正月飾り・・・12月4日(日)

新潟アグリクラフトを講師に、稲穂などの自然の素材を使った正月飾り作りの教室を開催した。

⑦ クリスマスのミニアレンジ作り・・・12月11日(日)

アトリエ tazymazy の長谷川京子氏を講師に、クリスマスに飾れるミニアレンジを製作した。

⑧ フラワーアレンジメントワンディレクション・・・1月22日(日)

フラワーアレンジメントの展示にあわせて、1日体験教室を開催した。

【資料3】

⑨ 稲わらで作る正月飾り・・・2月26日（日）

新潟アグリクラフトを講師に、自然の素材を使ったひな人形を製作した。

⑩ からくり人形の実演・・・3月5日（日）

越後大郷からくり館の館長・日根之和氏を講師に、からくり人形の実演を行った。

⑪ ボランティアガイド事業

旧小澤家住宅のボランティアガイドに館内の案内をお願いした。

令和5年2月現在、新規ボランティアガイドも募集している。

※7月に予定していた「新潟甚句・佐渡おけさ講習会」と宿泊体験は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

(3) 施設普及事業

旧小澤家住宅での様々な楽しみ方を提案するため、お月見やお正月など時候に合わせた「しつらい」とともに催し物を実施した。

また、事業取組の参考とするため、来館者ニーズのアンケート調査を実施した。

① 山野草の展示・・・5月20日（金）～5月28日（土）

旧小澤家住宅の風合いを来館者から楽しんでもらうため、通り土間にさまざまな山野草を展示した。

協力・花や木下

② 蛙まつり・・・6月1日（水）～6月12日（日）

6月6日の「かえるの日」と梅雨にあわせて、職員ら有志が持ち寄った蛙をモチーフにした置物、ぬいぐるみ、手拭いや絵本などを展示した。

かえるクッキーや、福祉事業所で作成した「かえるちゃん」ポーチの販売も行った。

③ 夏至祭・・・6月19日（日）

夏の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、夏至の日に合わせて飲食の提供や物販、唄と三味線と踊りのライブを行った。なお、和服での来館者は入館料を無料とした。

共催・リトルライトストア

④ おやつの日・・・7月24日（日）、9月3日（土）、10月9日（日）

町のにぎわいを絶やさないことを目的に、市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。こはく会による、唄と三味線と踊りのライブも開催した。

⑤ 文化の日 無料公開・・・11月3日（木・祝）

文化の日にちなみ、新潟市内の文化施設とともに入館料を無料とした。

⑥ 旧小澤家住宅 秋の文化祭・・・11月23日（水・祝）

秋の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、飲食の提供や物販、唄と三味線と踊りのライブを行った。

【資料3】

- ⑦ ふろしきファッションショー「フロコレ」・・・11月27日(日)
「ふろしきイマ・ムカシ・コレカラ」展の関連企画として、幼児～中学生までの子どもたちが、それぞれで決めたテーマにそってふろしきを身にまとい、茶の間にしつらえたランウェイを歩いて思い思いの着こなしを披露した。
- ⑧ 年忘れ煎茶会・・・12月18日(日)
煎茶道東阿部流による年末の煎茶会を開催した。
- ⑨ 卯年ミニ展示・・・1月7日(土)～1月15日(日)
卯年に合わせて、うさぎの掛け軸やぬいぐるみ、本や雑貨のミニ展示を行った。
- ⑩ 市民企画フラワーアレンジメント「花で彩る」・・・1月21日(土)～1月29日(日)
通り土間にお正月に合わせたフラワーアレンジメントを展示した。
- ⑪ たねをまく朝ごはん会・量り売りマーケット・・・1月29日(日)、2月23日(木・祝)
新潟の生産者が作った食材を使った朝ごはんを提供した。
また、新潟の農家が作った野菜や芋、味噌や米、惣菜やお菓子などを、昔の市場をイメージし、環境にも配慮した量り売りで販売した。
- ⑫ 箏と尺八の演奏会・・・2月23日(木・祝)
「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、箏と尺八で春らしい曲を演奏した。
- ⑬ ミニ展示
通り土間や茶の間に、氷コップや豆ランプ、スタンドグラスや人形などを展示した。
※5月に予定していた「藤見煎茶会」は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、また、12月に予定していた「お正月の苔玉作り」は荒天のため中止となった。

(4) 調査研究事業

みなとまち新潟に対する市民の理解を深めるため、小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査した。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に賛助会員として参加し、令和4年6月5日(日)には「第45回全国町並みゼミ新潟市大会」の分科会会場となった。

(5) 収蔵資料保存管理事業

資料の仮整理・収蔵作業を行った。

2 文化施設管理受託事業

指定管理の受託事業者として新潟市文化財旧小澤家住宅の適正な維持管理運営を行い、来館者および利用者へのサービスの向上に努めた。

※ 令和4年度 旧小澤家住宅入館者数

令和4年度	目標 12,000人
-------	------------

(1月末現在) 11,562人(対前年度比125%)

【資料3】

新型コロナウイルス感染拡大の影響は依然続いているが、徐々に持ち直してきている。

○ 旧小澤家住宅の 付帯事業

旧小澤家住宅では、新潟漆器、ふろしき、書籍などを委託で販売し、季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。

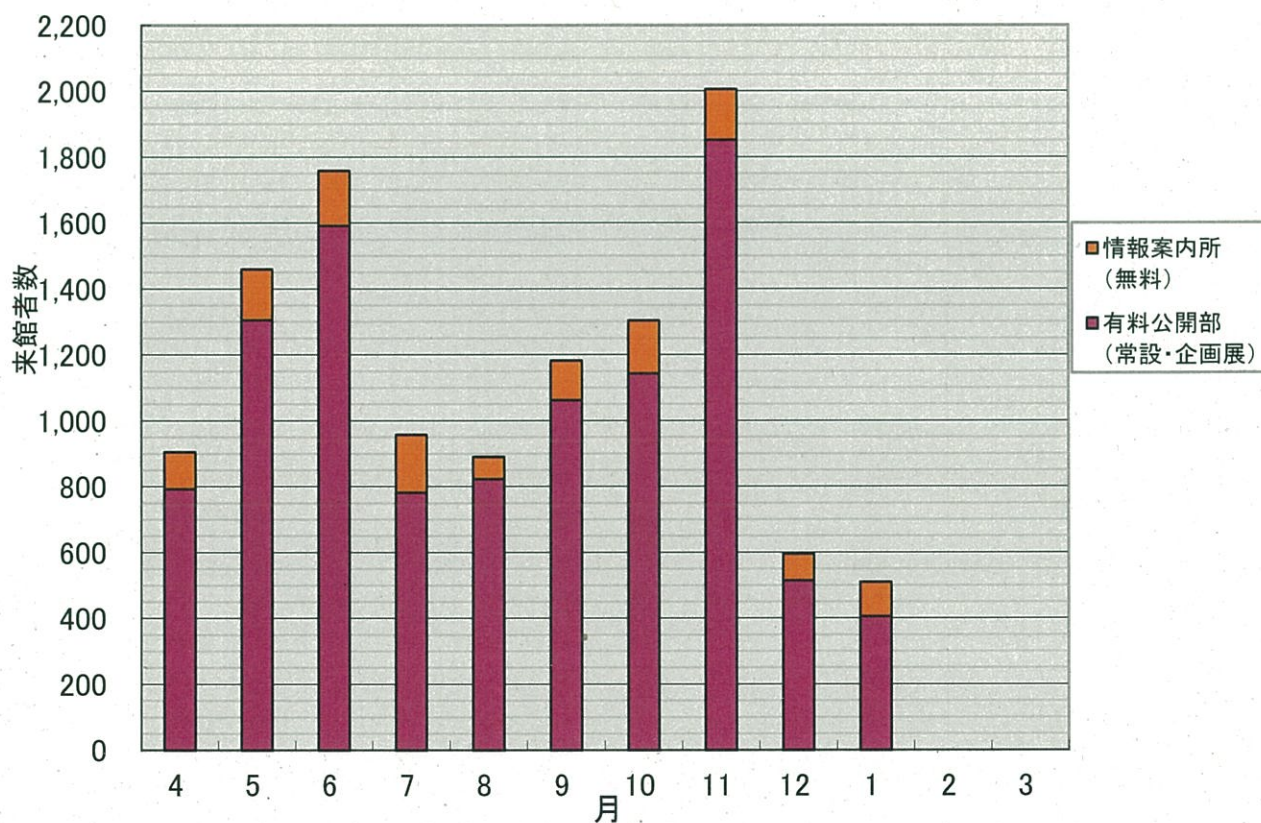
当館はオリジナル商品として、箸置き、手ぬぐい、トートバッグ、Tシャツ、マグカップなどの開発・販売にも力を入れている。

令和4年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数(1月末現在)

月	開館日数	有料公開部 (常設・企画展)	情報案内所 (無料)	R4月別 来館者数計	R4日平均 来館者数	備考
4	26	792	112	904	35	
5	27	1,305	154	1,459	54	
6	26	1,591	167	1,758	68	
7	27	782	175	957	35	
8	26	823	67	890	34	
9	26	1,062	120	1,182	45	
10	26	1,143	160	1,303	50	
11	24	1,851	154	2,005	84	
12	23	514	81	595	26	
1	24	405	104	509	21	
2	12			0	0	
3	26			0	0	
計	293	10,268	1,294	11,562	39	

4年度月別来館者数



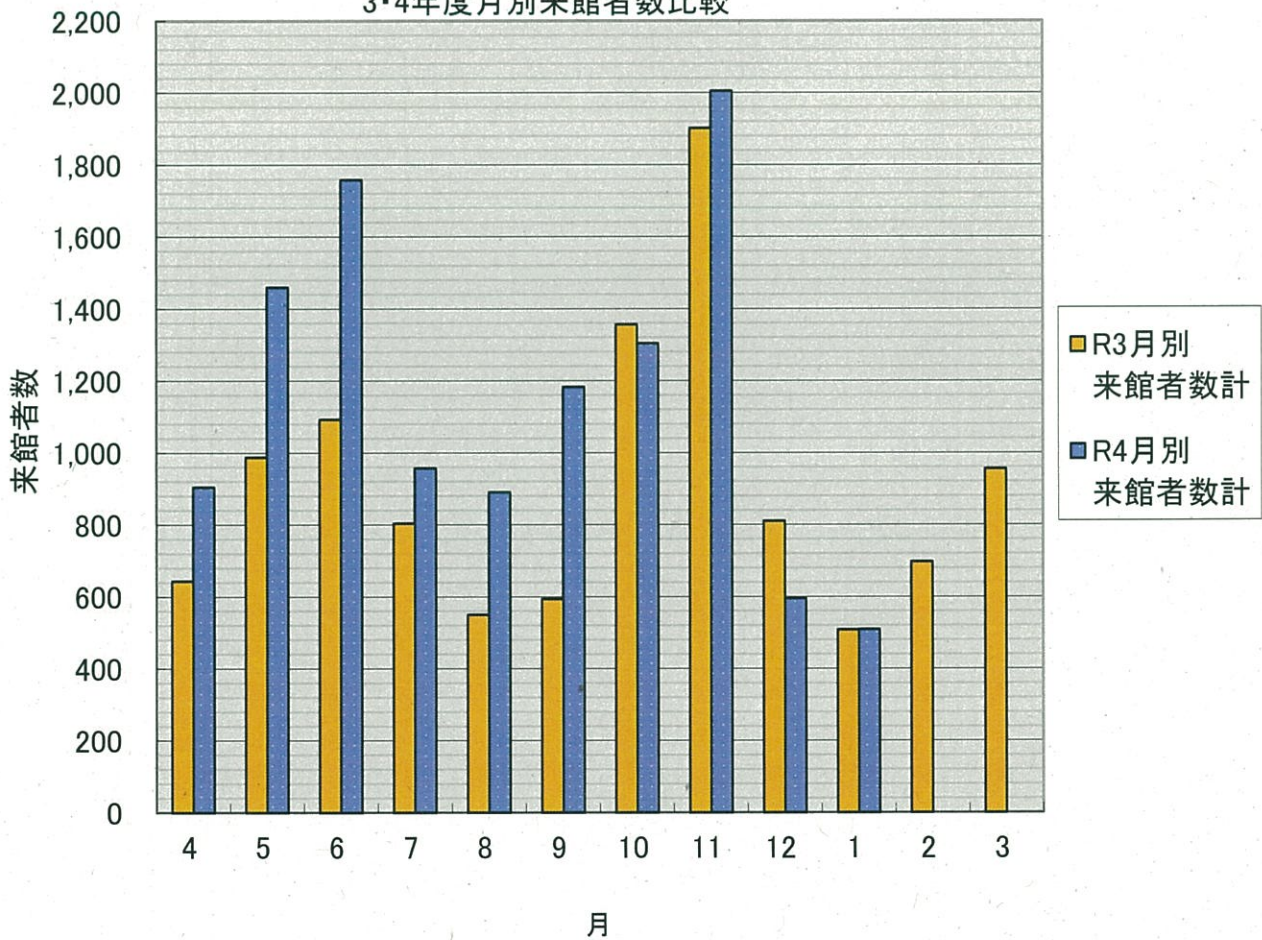
【資料4】

令和3年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	有料公開部 (常設・企画展)	情報案内所 (無料)	R3月別 来館者数計	R3日平均 来館者数	備考
4	25	417	226	643	26	
5	26	765	222	987	38	
6	26	862	230	1,092	42	
7	26	570	234	804	31	
8	26	397	153	550	21	
9	13	472	121	593	46	
10	27	1,000	356	1,356	50	
11	23	1,654	247	1,901	83	
12	23	634	176	810	35	
1	17	383	125	508	30	
2	22	488	209	697	32	
3	27	701	254	955	35	
計	281	8,343	2,553	10,896	39	

3・4年度月別来館者数比較

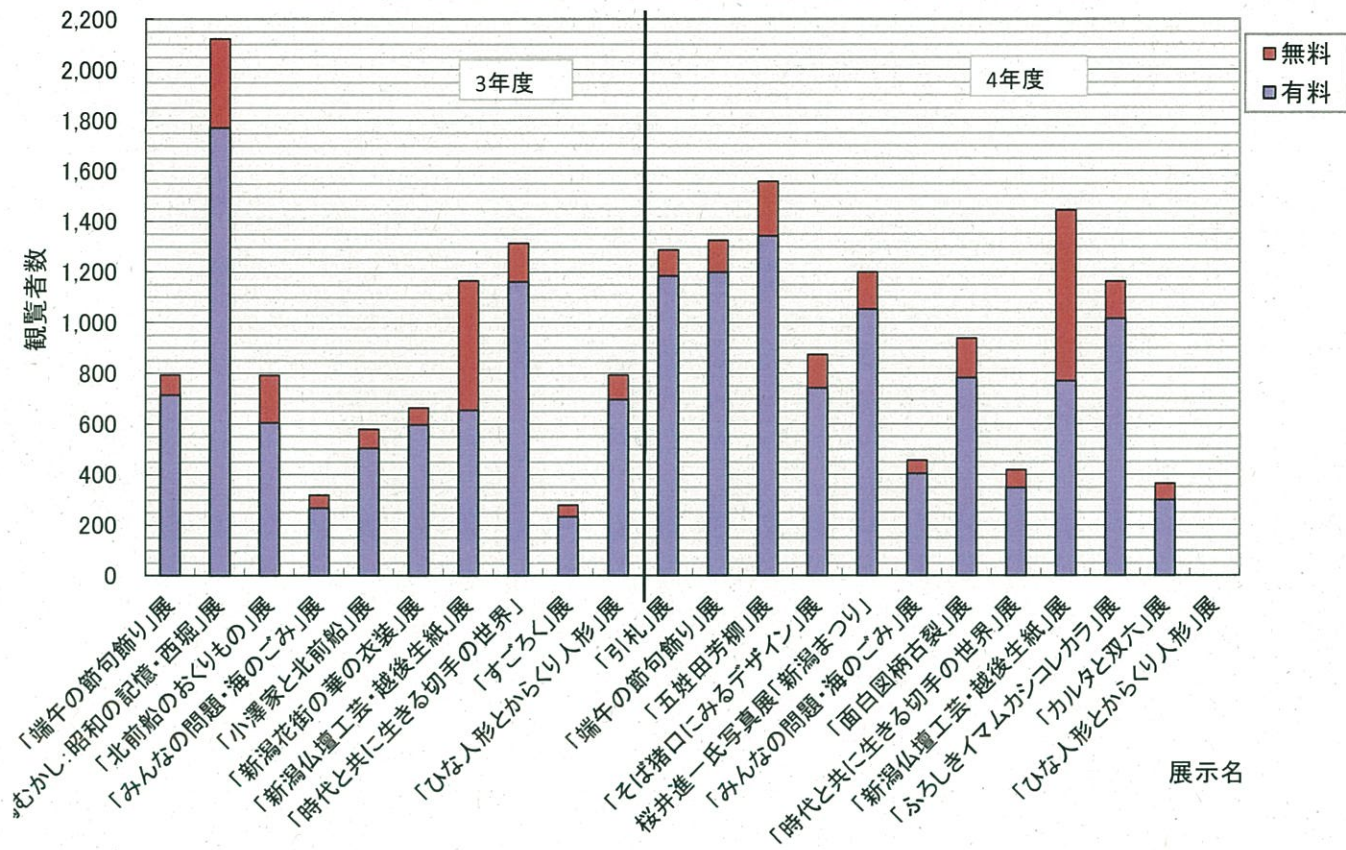


R4年度 旧小澤家住宅 企画展観覧者数(参考3年度)

	企画展名	会期	合計	有料計	個人	団体・ セット券	無料計	うち授業	うち小中 土日無料	開館 日数	日平均
3 年 度	「端午の節句飾り」展	R3.4.10~5.16	793	714	350	364	79		6	31	26
	「新潟むかし:昭和の記憶・西郷」展	R3.4.10~7.11	2,122	1,771	896	875	351	28	52	79	27
	「北前船のおくりもの」展	R3.6.13~7.11	792	605	339	266	187		42	25	32
	「みんなの問題・海のごみ」展	R3.7.17~8.1	318	268	128	140	50		12	13	24
	「小澤家と北前船」展	R3.7.22~8.29	579	504	209	295	75		5	33	18
	「新潟花街の華の衣装」展	R3.9.17~10.3	664	598	338	260	66		12	14	47
	「新潟仏壇工芸・越後生紙」展	R3.10.16~11.7	1,167	655	350	305	512		15	19	61
	「時代と共に生きる切手の世界」	R3.11.13~12.12	1,315	1,163	535	628	152	11	26	25	53
	「すごろく」展	R3.12.18~R4.1.16	279	233	70	163	46		2	20	14
「ひな人形とからくり人形」展	R3.2.19~3.21	793	697	327	370	96		21	26	31	
4 年 度	「引札」展	R4. 4. 2~5. 8	1,288	1,185	479	706	103	5	12	33	39
	「端午の節句飾り」展	R4. 4. 20~5. 22	1,326	1,200	514	686	126	22	14	30	44
	「五姓田芳柳」展	R4. 5. 14~6. 12	1,559	1,343	620	723	216	47	23	26	60
	「そば猪口にみるデザイン」展	R4. 6. 18~7. 10	874	742	370	372	132	11	3	20	44
	桜井進一氏写真展「新潟まつり」	R4. 7. 16~8. 28	1,201	1,054	352	702	147		24	38	32
	「みんなの問題・海のごみ」展	R4. 7. 16~7. 31	456	405	103	302	51		7	14	33
	「面白図柄古裂」展	R4. 9. 3~9. 25	939	783	325	458	156	8	7	20	47
	「時代と共に生きる切手の世界」展	R4. 10. 1~10. 10	418	349	149	200	69		2	9	46
	「新潟仏壇工芸・越後生紙」展	R4. 10. 15~11. 6	1,445	770	296	474	675		9	19	76
	「ふるしきイマムカンコレカラ」展	R4. 11. 19~12. 25	1,164	1,017	402	615	147		9	31	38
	「カルタと双六」展	R5. 1. 7~2. 1	364	299	151	148	65		6	22	17
「ひな人形とからくり人形」展	R5. 2. 18~3. 21	0	0						26	0	

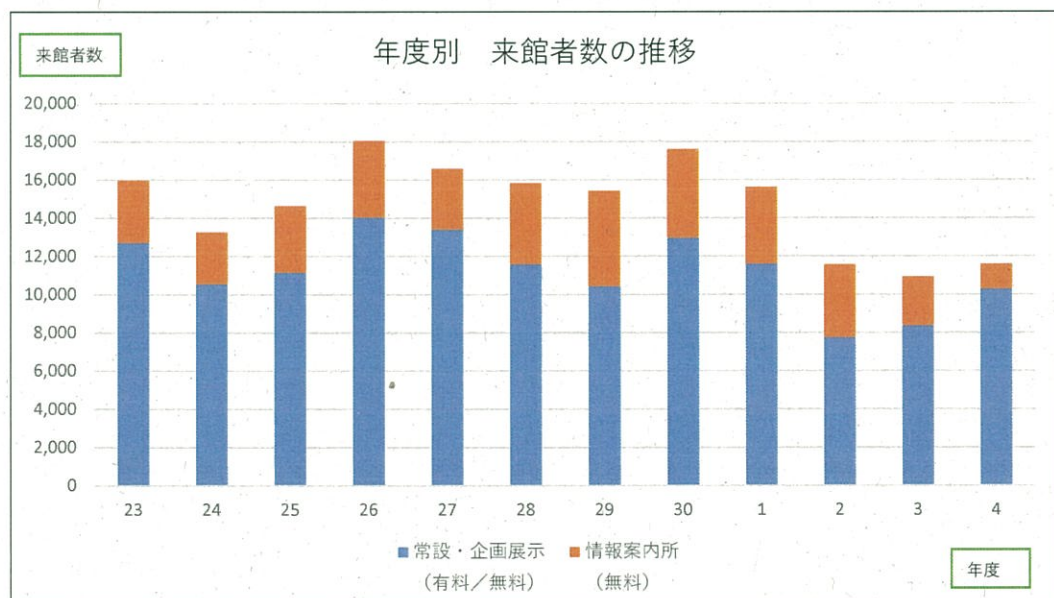
【資料4】

令和4年度 旧小澤家住宅の企画展観覧者数（参考3年度）



開館からの来館者数の推移（旧小澤家住宅）

年度	来館者数	対前年度比	常設・企画展示 (有料/無料)	情報案内所 (無料)	備考
23	15,950	-	12,700	3,250	○7月開館
24	13,237	△2,713	10,538	2,699	
25	14,608	1,371	11,134	3,474	
26	18,005	3,397	14,018	3,987	
27	16,552	△1,453	13,378	3,174	
28	15,795	△757	11,578	4,217	
29	15,396	△399	10,412	4,984	
30	17,576	2,180	12,950	4,626	
1	15,603	△1,973	11,591	4,012	
2	11,544	△4,059	7,735	3,809	
3	10,896	△648	8,343	2,553	
4	11,562	666	10,268	1,294	※1月末現在
累計	176,724		134,645	42,079	



【資料5】

令和5年度事業計画 博物館

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

1 文化事業

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 展示運営更新

常設展示室の部分展示替え等により情報内容を更新する。

(2) 企画展示事業

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行う。次年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催する。

① 「長井雲坪 沼垂の画家うんぺいさんの里帰り」展

開催期間 令和5年4月8日～5月28日 44日間

幕末から明治にかけて活躍した沼垂出身の画家、長井雲坪は長崎で画を学び、一時新潟へ帰郷したが、おもに長野を拠点とした。長野で大切にされてきた一大コレクションを紹介する。

② 「川村修就と新潟」展

開催期間 令和5年7月22日～9月3日 39日間

江戸時代末、天保14年に新潟町は幕府の領地となり、その管理のため「新潟奉行」が新たに設置された。初代新潟奉行となった川村修就の子孫が新潟市へ寄付した貴重な史料から新潟奉行設置の経緯や激動の時代を生きた川村家の歴史を伝える。

③ 第20回むかしのくらし展「どうぐのどうぶつえん」

開催期間 令和5年9月16日～12月3日 65日間

くらしの中で使われる道具には、動物の名前や姿かたちからヒントを得たものが数多く存在する。身近な道具やできごとから、動物と私たちのくらしとの関りについて考える。

③ 収蔵品展・新収蔵品展

開催期間 令和5年12月16日～令和6年1月28日 32日間

館収蔵資料をテーマを設けて紹介する収蔵品展と、令和5年度に新たに受け入れる資料を紹介する新収蔵品展を開催する。

④ その他

次年度に開催予定の企画展の準備を行う。(印刷物の作成等)

※このほか、自主事業による企画展を開催する。

(3) 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人や

【資料5】

モノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を追加する。

① 体験の広場事業

小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を持つ、3つの広場「昔のくらしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験プログラムを、土・日・祝日を中心に年50回程度開催する。

また、夏休み向けの体験や大人を対象とした体験プログラムなど、対象を設定した体験プログラムも織り交ぜて行う。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講義や大学生の実習受入れを行う。学校のニーズに応じて出前授業にも対応する。また博物館ホームページに新しいコンテンツ制作を予定。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

- ・ 博物館講座 年10回（1月、3月を除く各月の第4日曜日）
- ・ 館長講座 全4回（3月に開催予定）
- ・ 歴史講座「浜・潟・山の歴史とくらし」 全4回（開催日調整中）

④ ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。またボランティア活動への新規希望者に向けた研修を行う。

※このほか、自主事業による教育普及事業を実施する。

(4) 施設普及事業

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

① 地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

② みなとびあファンクラブ

「みなとびあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。講演会や企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きなどを開催する。

(5) 調査研究事業

市民の関心を引き起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地のくらし」に合わせた調査・研究を基本とし、そのほか学芸員が各自のテーマで調査・研究を実施する。そうした成果を博物館講座等で市民に報告するとともに、研究紀要として刊行する。

【資料5】

(6) 資料整理事業

寄贈や購入などにより受け入れた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行う。

① 保存環境管理

歴史資料を長期保存するための資料保全・環境整備。

新規収集資料の燻蒸・殺虫処置や、博物館収蔵庫・石庫・新潟市文化財センター・旧木場小学校等に所蔵する資料を、よりよい状況で保存するための IPM をはじめとする資料保存環境の管理に努める。

② 資料収集整理

地域の歴史資料を収集するとともに、資料を保存管理するための基礎的データや資料活用するための資料情報を調査・記録し、データベース化する整理作業を行う。併せて、資料の保存のためのクリーニング・養生などの処置を行う。

(7) 自主事業「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」

令和3年度から再スタートした自主事業で、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、新潟の街をみんなで盛り上げていこうというもの。事業実施に当たり、地域の企業・団体から協賛金をいただくなど自主財源を確保し、以下の事業を行う。

① 企画展

「1964」展

開催期間 令和6年2月17日～3月24日 30日間

世界最速の新幹線が走り出し、アジア初のオリンピックが東京で開催された1964(昭和39)年、新潟では国体が開催され、大地震が発生。昭和史に残る出来事が続いた1964年を振り返る。

② 古文書解読上達講座

古文書学習の経験者を対象にした古文書の上達講座。

毎月第3水曜日(8月のみ第4水曜日)に実施予定 全10回 定員60人

③ みなとぴあこども歴史クラブ

小学生を対象に、古代から現代にいたる人々の暮らしの一端を体験用にプログラム化し、体験を通じて歴史を身近に感じ、かつての暮らしの知恵や文化財保護を考えるきっかけとする。

毎月第3日曜日に実施 全11回 20人程度募集

④ 大人の体験プログラム

大人が楽しめる歴史・文化にかかわる体験イベントを企画・実施する。

⑤ 特別講演会

新潟市の枠を超えた歴史をテーマとする講演会を企画・開催する。

⑥ 古町学

旧新潟町エリアを学びの場とし、市民参加によって歴史・文化・魅力を掘り起こす地域学として継続実施する。

2 文化施設管理受託事業

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等に加え、信濃川左岸緑地の管理運営を行う。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

3 付帯事業

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機設置

【資料6】

令和5年度事業計画 旧小澤家住宅

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

1 文化事業

指定管理の受託事業者として、旧小澤家住宅の設置目的に基づき以下の各種事業を行う。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業

【常設展示】

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介する。

【企画展示】

①「新潟歴史玉手箱」展

開催期間 令和5年4月1日(土)～5月7日(日)

市内の街中で何気なく目にする胸像や石碑・記念碑等、見過ごされている事物・事象を取り上げ、顕彰来歴をはじめ埋もれかけている歴史的内容を掘り起こし紹介する。防火水槽・越路焼といった事物をはじめ楠本正隆からドカベンキャラクター銅像など対象を幅広く扱う。

協力：新潟ハイカラ文庫

②「新潟の料亭・器展—老舗料亭行形亭の器—」

開催期間 令和5年5月20日(土)～6月25日(日)

新潟の食・もてなしの文化を支え伝えてきた料亭の老舗「行形亭」で使われた器を展示紹介する。行形亭の御膳・食器や先代亭主の和也氏が買い揃えた器を展示紹介する。

共催：行形亭・新潟ハイカラ文庫

③桜井進一氏写真展「古町通り・七夕まつり」展

開催期間 令和5年7月5日(水)～8月27日(日)

桜井進一氏が撮影した七夕まつりと当該時期の古町通りの写真を展示紹介し、往事の姿を回顧する。

④「みんなの問題 海のゴミ」展

開催期間 令和5年7月15日(土)～7月30日(日)

一般社団法人JEAN所蔵の海ゴミ問題啓発に関する写真パネルを展示する。

協力：一般社団法人JEAN

⑤「安宅安五郎 一生誕140年記念—」展

開催期間 令和5年9月9日(土)～9月24日(日)

新潟市に生まれ、帝展審査員にも任命された安宅安五郎の生誕140年を記念して、絵画並びに資料を展示してその足跡を紹介する。

⑥新潟郵趣会展「絵葉書と年賀状(仮) 一時代と共に生きる切手の世界」展

開催期間 令和5年9月30日(土)～10月9日(月)

明治期以降の切手並びに絵葉書や年賀状を通じて、流行した当時のデザインなど郵趣の魅力の一端を紹介する。

共催：新潟郵趣会

⑦「新潟仏壇工芸」展

開催期間 令和5年10月14日(土)～11月5日(日)

当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示する。これにあたり仏壇製作の技法を用いた仏壇以外の製作物の展示と職人の紹介も行う。

共催：新潟仏壇組合、新潟市

⑧「伊勢型紙の世界」展

開催期間 令和5年11月18日(土)～令和6年1月21日(日)

日本の染色技術の一つとしての「型染」で用いられる「型紙」に焦点をあて、型紙職人による手仕事の繊細で高い技術力をはじめ、多様な文様をもつ型紙の魅力を紹介する。

共催：新潟ハイカラ文庫

⑨「ひな人形とからくり人形」展

開催期間 令和6年2月17日(土)～3月24日(日)

上巳にあわせ、当館及び市内で使用された雛人形を展示する。また、新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛や動く人形としてのからくり人形も展示紹介する。

共催：新潟ハイカラ文庫

(2) 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりする。

① 体験学習事業

・企画展の内容に即した体験学習

仏壇工芸体験(「新潟仏壇工芸」展中)

からくり人形実演(「ひな人形とからくり人形」展中)

稲わらでつくるひな人形(「ひな人形とからくり人形」展中)

・ふろしき講座

・新潟甚句、佐渡おけさ講習会

・クリスマスと早春のフラワーアレンジメント

・稲穂でつくる正月飾り

・フラワーアレンジメントワンディレクソン

【資料6】

② 講座・講習・講演会事業

- ・古文書講座 全2回（春1回、秋1回）
- ・庭園講座 全2回（春1回、秋1回）

(3) 施設普及事業

旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、広報用の印刷物を作成したり、SNSによる情報発信をしたり、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行ったりする。

また、季節に合わせたしつらいや、イベントの開催などにより、来館の動機付けを行う。

① 芸術文化活動の開催

- ・市民企画フラワーアレンジメント 花で彩る 令和6年3月中

② 季節に合わせたしつらい

- ・山野草の展示
- ・お月見の展示
- ・お正月の展示

③ 季節に合わせたイベントの開催

- ・藤見煎茶会、年忘れ煎茶会
- ・夏至祭 令和5年6月18日（日）
- ・秋の大文化祭 令和5年11月23日（木・祝）

④ 食・音楽・季節をテーマにしたイベントの開催

(4) 調査研究事業

市民が注目し、深く関心のあるテーマの探求や本施設における活動の発展のために、調査研究活動を行う。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に賛助会員として参加する。

(5) 収蔵資料の保存管理事業

旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新規受け入れ資料の保存と目録の作成。

(6) その他事業

地元団体、関連施設と連携した催事を開催する。

2 文化施設管理受託事業

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅（情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等）の管理運営を行う。

3 付帯・施設貸与事業

来館者に対するサービスの充実を目的に、旧小澤家住宅でしか手に入らないオリジナル商品をはじめ、和の文化、みなとまちや歴史に関するグッズ等を扱ったショップの運営を行う。

令和5年度 新潟市歴史博物館開館カレンダー

2023年4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1		1	2	3	4	5	6				1	2	3	
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	
30																				

7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5					1	2	
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30
30	31													24	25	26	27	28	29	30

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4					1	2	
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
29	30	31					26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30
														31						

2024年 1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6				1	2	3					1	2	
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	9
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	10	11	12	13	14	15	16
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22	23
28	29	30	31				25	26	27	28	29			24	25	26	27	28	29	30
														31						

※ は休館日 (6月5日～6月12日は薬剤燻蒸、1月29日～2月9日は施設整備のため休館)
開館日数 288日

◆ 常設展 (常時公開)

水運や農業、水害など、さまざまに「水」と深く関わりながら生きてきた新潟の人々の歴史を、ジオラマや映像、実物資料を使ってわかりやすく紹介しています。
また、ミュージアムシアターでは、当館のオリジナル映像3本を午前10時から1時間毎に内容を替えて上映しています。

◆ 企画展 (タイトルは仮)

○ 「長井雲坪 沼垂の画家うんぺいさんの里帰り」展

長井雲坪(1833～99)は、幕末から明治にかけて活躍した沼垂出身の画家です。長崎で画を学び、その後諸国をめぐって新潟へも一時帰郷しましたが、長野を拠点とし、晩年は善光寺裏に居を構えました。本展では、長野で大切にされてきた一大コレクションをご紹介します。

4/8
▼
5/28

○ 「川村修就と新潟」展

天保14(1843)年、新潟町は幕府の領地となり、「新潟奉行」が新たに設置されました。初代奉行の川村修就は在任した9年で、奉行所の建設や諸制度の確立に尽力しました。当館所蔵の川村家文書を中心に、江戸末期の新潟の姿を伝える資料を展示します。

7/22
▼
9/3

○ 第20回 むかしのくらし展「どうぐのどうぶつえん！」

博物館が動物園に！？くらしの中で使われる道具には、動物の名前や姿かたちからヒントを得たものがいっぱい！身近な道具やできごとから、動物と私たちのくらしとの関わりについて考えてみましょう。

9/16
▼
12/3

★ 収蔵品展・新収蔵品展

資料の収集・保存は博物館の重要な事業です。収蔵品展では、テーマを設けて館の収蔵品を紹介します。新収蔵品展では、今年度に新たに収集した資料を紹介します。

12/16
▼
1/28

○ 「1964」展

世界最速の新幹線が走り出し、アジア初のオリンピックが東京で開催された1964(昭和39)年、新潟では国体が開催され、大地震が発生しました。昭和史に残る出来事が続いた1964年を振り返ります。

2/17
▼
3/24

講座等催事カレンダー

● 体験プログラム(土・日や祝日を中心に50回程度開催)

伝統的な季節の行事体験, 砂絵描き, 火起こし, ワラ紙づくりなどの子ども向け親子向けの楽しいプログラムを開催します。また, 夏休みの子どもを対象にした体験や大人を対象にした体験イベントなども行います。

● 博物館講座(1、3月を除く各月の第4日曜日に開催)

当館の学芸員が, 日頃疑問に思っただけことや研究を進めている内容について報告し, 参加者とともに考えていく講座です。

4/23、5/28、6/25、7/23、8/27、9/24、10/22、11/26、12/24、2/25

● 館長講座(3月 全4回開催)

当館館長自らが時流に合ったテーマを設定し, 企画・開催する全4回の講座です。
3/10、17、24、31

● みなとぴあ歴史発見プロジェクト

新潟の歴史に親しみ, 歴史発見の喜びを知るプロジェクトで, 企業や団体, 個人の方々から協賛・寄付金をいただいて, 企画展や講座, 体験プログラムなどを実施しています。詳しくは館からの案内やホームページ等をご覧ください。

○ 出張講座や講演会等も希望に応じ実施します。お気軽にご相談ください。

○ 【貸館事業】当館で開催予定の展覧会など

☆ 現代工芸美術展 6/24～7/2
(主催: 一般社団法人 現代工芸美術家協会)

※催事の名称, 時期とも年度当初の予定です。
最新情報をポスターやチラシ, ホームページ, 電話等でご確認ください。

令和5年度 旧小澤家住宅開館カレンダー

2023年4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1		1	2	3	4	5	6				1	2	3	
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30				
30																				

7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5						1	2
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30		
30	31																			

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4					1	2	
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
29	30	31					26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30		
													31							

2024年 1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6				1	2	3					1	2	
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	9
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	10	11	12	13	14	15	16
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22	23
28	29	30	31				25	26	27	28	29	24	25	26	27	28	29	30		
												31								

※ は休館日 (1月22日から2月9日は施設整備のため休館)
開館日数 288日

【企画展のご案内】

- 「新潟歴史玉手箱」展 4月1日(土)～5月7日(日)
市内の街中で何気なく目にする胸像や石碑、見過ごされがちな事物・事象を取り上げ、歴史を掘り起こし紹介します。
- 「老舗料亭 行形亭の器」展 5月20日(土)～6月25日(日)
新潟の食・もてなしの文化を支えてきた料亭の老舗「行形亭」で使われた器や資料を展示紹介します。
- 桜井進一氏写真展「古町通り・七夕まつり」展 7月5日(水)～8月27日(日)
桜井進一氏が撮影した七夕まつりとその季節の古町通りの写真を展示紹介し、往事の姿を回顧します。
- 「生誕140年 安宅安五郎」展 9月9日(土)～9月24日(日)
新潟市の画家安宅安五郎の生誕140年を記念して、その足跡の一端を紹介します。
- 新潟郵趣会展「絵葉書と年賀状—時代と共に生きる切手の世界—」9月30日(土)～10月9日(月)
明治期以降の切手・絵葉書・年賀状を通し、当時流行したデザインなど郵趣の魅力の一端を紹介します。 共催:新潟郵趣会
- 「新潟仏壇工芸」展 10月14日(土)～11月5日(日)
新潟市の伝統的工芸品である「新潟仏壇」について展示紹介します。 共催:新潟仏壇組合、新潟市
- 「伊勢型紙の世界」展 11月18日(土)～1月21日(日)
日本の染色技術の一つ「型染」で用いられる「型紙」の、文様の豊かさと魅力を紹介。 共催:新潟ハイカラ文庫
- 「ひな人形とからくり人形」展 2月17日(土)～3月24日(日)
明治期以降のひな人形や江戸期のからくり人形を展示。 共催:新潟ハイカラ文庫
タイトル・期間は変更となる場合があります。

【講座等のご案内】

- 「夏至祭」 6月18日(日)
- 「庭園講習会」 6月25日(日)、11月中
- 新潟甚句・佐渡おけさ「新潟の踊り講習会」 7月下旬
- 「新潟仏壇工芸」展 製作体験 企画展期間中
- 文化の日 無料公開 11月3日(金)
- 「秋の大文化祭」 11月23日(木)
- フラワーアレンジメント体験「クリスマスの飾り」12月中
- 「稲穂でつくる正月飾り」 12月3日(日)
- フラワーアレンジメント展示「花で彩る」 3月中
- 箏と尺八の演奏会 2月23日(金)
- 「稲わらでつくるひな人形」 2月中
- からくり人形実演 3月3日(日)

ほか

イベントは変更となる場合があります。